

コラム 地域活動に取り組む高校生による講演（技術者交流フォーラム）

平成 26 年 8 月 28 日、地域において求められる技術開発に関する情報交換、産官学の技術者交流及び連携等を図る目的で、「北国の雪を活用したクリーンエネルギーの開発」をテーマに岩見沢市において技術者交流フォーラム in 岩見沢を開催しました。

講演では、室蘭工業大学の媚山正良特任教授による「雪を用いた冷熱エネルギーの可能性について 2014 盛夏」と題した基調講演に続き、その他 3 名と 1 組の方々に講演、報告等を頂きました。この中で、北海道岩見沢農業高等学校の雪冷熱研究班の 4 名の高校生が「“雪力”を高め、根付かせるために～新エネルギーからスタンダードなエネルギーへ～」と題した講演を行いました。同校の取り組みは、24 年度新エネルギー庁長官賞を受賞しています。

発表では、4 名の雪冷熱研究班員が役割を分担して、平成 22 年からの高校での各種取り組み、いちごの抑制栽培、胡蝶蘭の花芽分化調整、わさび栽培への融雪水利用、桜の開花時期調整、食品の低温熟成などについての報告と、地域との連携普及活動等についての説明を熱気にあふれたパフォーマンスで行いました。

フォーラムには、地元企業、官公庁等から 129 名の参加があり、参加者からは「高校生の発表はシグニ became。今後まだまだのびる可能性のテーマであり期待する。また数年後に”その後”の成果を聞いてみたい。」などのご意見と、9 割以上に方々から「参考になった」との高い評価をいただきました。



写真-1 雪冷熱研究班員による講演状況



写真-2 雪冷熱研究班員の方々と指導教諭